



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.81  
有馬温泉と六甲山  
／妻木 敏彦  
2009年12月発行

## 第81回テーマ:

### 有馬温泉と六甲山



有馬温泉の泉源

#### 講演内容

- 有馬温泉の歴史
- 魚屋道（ととやみち）の話
- 鉾山（かなやま）騒動



講師：妻木 敏彦さん  
プロフィール

1945年(昭和20年)姫路市生まれ、64歳。関西学院大学卒業後神戸市役所へ。震災の年、北区有馬出張所(現有馬連絡所)勤務。退職後、嘱託として有馬連絡所長。地元の有馬文庫事業や里山「癒しの森」事業にも携わる。

実施日：平成21年12月19日(土)

午後1時～3時20分

場所：六甲山地域福祉センター

### 今年一番の冷え込み

午前8時の六甲山上の気温は-8℃、前日に続く寒さで今年一番冷え込みだとのことでした。午前中の環境整備のボランティア活動には9人が参加し、アセビ実験区画と周辺の観察・調査を行いました。二つ池は水生植物ヒルムシロが緑色のままで凍結し、透明な氷は3センチほどの厚さでした。

### 妻木さんは歴史を生かすまちづくりに注力

講師の妻木 敏彦さんは北区役所有馬連絡所長で、古文書などの資料を集めた有馬文庫も運営されています。今回は北区役所まちづくりサポーターの武内 志津子さんと一緒に。有馬の町おこしにつながる様々な活動も披露されました。お二人揃って、有馬温泉を多くの神戸市民に親んでもらおうとメッセージを発信されました。



武内さんと妻木さん

### 日本有数の有馬温泉の由緒とこれから

有馬町の面積は8.3平方km、六甲山の山頂まで続いています。人口は1400人程度で、旅館の収容人数は6000人、温泉が中心の町です。有馬小学校も生徒が34人の小規模校です。

有馬温泉は日本書紀に書かれている最も古い温泉で、白浜温泉、道後温泉とともに日本三古泉と称されていました。温泉を100倍に薄めても成分の基準を満たしており、近くで全く成分の違う湯が出るのは世界でも珍しいとのこと。温泉寺を開いた行基菩薩、荒れ果てた温泉を復興した仁西上人、そして有馬温泉に何度も来た豊臣秀吉は、有馬の三恩人と言われています。

講演では、有馬温泉の歴史や概要の説明から魚屋道

(ととやみち)の間道騒動、鉾山(かなやま)騒動の話へと進みました。地元の人たちが六甲山を南北に結ぶ難工事に取り組んで、本街道の宿場から訴訟を受けて敗訴を続けました。一方、唐櫃村の鉾山開発などに対して、源泉が枯れると訴訟した鉾山騒動では勝訴を続けました。有馬温泉の興隆をめぐる歴史秘話は、地域への関心を高めました。

終盤は歴史を生かすまちづくりへの有馬温泉の様々な取り組み、妻木さん達の有馬文庫(兵庫県の県民交流事業)、「癒しの森」づくりなどを紹介されました。

参加者からは、有馬温泉や癒しの森についての期待や、活性化につながる提案なども出て、有馬温泉の魅力と一緒に考える場になりました。

### 有馬温泉への関心をさらに高めたい

日本有数の温泉の町である有馬温泉は有名な観光地ではあるが、周辺に住む神戸市民も頻りに訪ねていきたいような地域づくりも目指していくようだ。「こうべ」の有馬温泉としての魅力再発見を進めていきたいものです。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

### 参加の感想 藤原 淳一さん

演者の歴史好きが伝わってくる講演でした。歴史や古文が苦手な私にとっては難解な資料なので、解説がなければ解読できませんでした。

今後有馬温泉に行く機会があれば、「癒しの森」を散策してみたいと思いました。

また、有馬温泉の泉源で発生する塩も食べてみたいと思いました。



主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会

### 【助成金をいただいている機関】

イオン環境財団、大阪コミュニティファンド、公益信託自然保護ボランティアファンド、公益信託TaKaRaハーモニストファンド